

音訳 楽しみながら続けたい

年 組 名前

音訳するボランティアとして活動している豊丘村の小沢敏子さんは、鉄道弘済会と日本盲人福祉委員会から関東甲信越地区の朗読録音部門で表彰されました。小沢さんは、どんな思いで活動しているのか、記事を読み取りましょう。

① 次の漢字の読み方を書きましょう。

（ ） 拠点 携 （ ） わる

校正 推薦

（ ） （ ） （ ）

校正 推薦

② 音訳とは、何をすることですか。辞書などで調べてみましょう。

③ 小沢さんは60歳を前に、何をしたいと考えて音訳ボランティア養成講座を受けたのですか。

④ 小沢さんは音訳ボランティアとして、何年間で何冊手掛けましたか。また、何人で何を校正し、1冊仕上げるのに、どのくらいの期間がかかりますか。

手掛けた音訳の数――

校正――

1冊にかかる期間――

⑤ 書籍を自動音声で読み上げる技術も発達していることについて、小沢さんは何と話していますか。

⑥ 長時間声を出し続けるのは徐々に難しくなっているという小沢さんですが、何と言って意欲を見せていますか。

音訳 楽しみながら続けたい

図書館拠点にボランティア 豊丘の小沢さん



19年間に47冊手掛け 朗読録音部門で表彰

飯田市中心図書館を拠点に視覚障害者ら向けに本や新聞を音訳するボランティア団体「声の輪」の小沢敏子さん(77)＝豊丘村＝が、音訳に携わるボランティアを顕彰する鉄道弘済会(東京都)と日本盲人福祉委員会(同)から関東甲信越地区の朗読録音部門で表彰された。「楽しみながら続けたい」と気持ちを新たにしている。

気持ち新たに「より聞きやすく」

子どもの頃から図書室や書店 合った方法で人のためにできに通っていた小沢さん。夫が「聞こえたい」と、音訳ボランティア養成講座を受けた。仕する傍ら、60歳を前に「自分に 事や家事の合間に自宅で録音

し、19年間で47冊を手掛けた。3人で固有名詞の読み方が正しいかなど校正し、2カ月から半年かけて1冊を仕上げる。さまざまな本に向き合う活動は「勉強させてもらっている感覚」と話す。

図書館の推薦本などを中心に、関心のある社会的なテーマの本を選ぶことが多い。手掛けた本の中では、東京電力福島第1原発事故を題材にした「福島第一原発収束作業日記」(ハッピー著)や、吃音(きつごん)に悩む人たちを描いた「吃音 伝えられないもどかしさ」(近藤雄生著)が、特に利用数が多いという。

書籍を自動音声で読み上げる技術も発達している。「頼れることは頼りつつ、生身の声で聞きたい人のためにはより聞きやすく読めるよう努力したい」。長時間声を出し続けるのは徐々に難しくなっているものの「音訳したい本はいくらでもある」と意欲を見せている。

音訳を手掛けた中で特に利用数の多い書籍を手にする小沢さん

(2021年8月28日朝刊・地域面(飯田 伊那))

音訳 楽しみながら続けたい

解答例

年 組 名前

音訳するボランティアとして活動している豊丘村の小沢敏子さんは、鉄道弘済会と日本盲人福祉委員会から関東甲信越地区の朗読録音部門で表彰されました。小沢さんは、どんな思いで活動しているのか、記事を読み取りましょう。

① 次の漢字の読み方を書きましょう。

（きよてん） （たず） わる

拠点 携

（こうせい） （すいせん）

校正 推薦

② 音訳とは、何をすることですか。辞書などで調べてみましょう。

【解答】 〔例〕文字などの印刷物を音声化すること

③ 小沢さんは60歳を前に、何をしたいと考えて音訳ボランティア養成講座を受けたのですか。

【解答】 自分に合った方法で人のためにできることをしたい

④ 小沢さんは音訳ボランティアとして、何年間で何冊手掛けましたか。また、何人で何を校正し、1冊仕上げるのに、どのくらいの期間がかかりますか。

手掛けた音訳の数—19年間で47冊

校正—3人で固有名詞の読み方が正しいかなど

1冊にかかる期間—2カ月から半年

⑤ 書籍を自動音声で読み上げる技術も発達していることについて、小沢さんは何と話していますか。

【解答】 頼れることは頼りつつ、生身の声で聞きたい人のためにはより聞きやすく読めるよう努力したい

⑥ 長時間声を出し続けるのは徐々に難しくなっているという小沢さんですが、何と言って意欲を見せていますか。

【答え】 音訳したい本はいくらでもある